

だいこんの需給動向について

だいこんの需給動向について

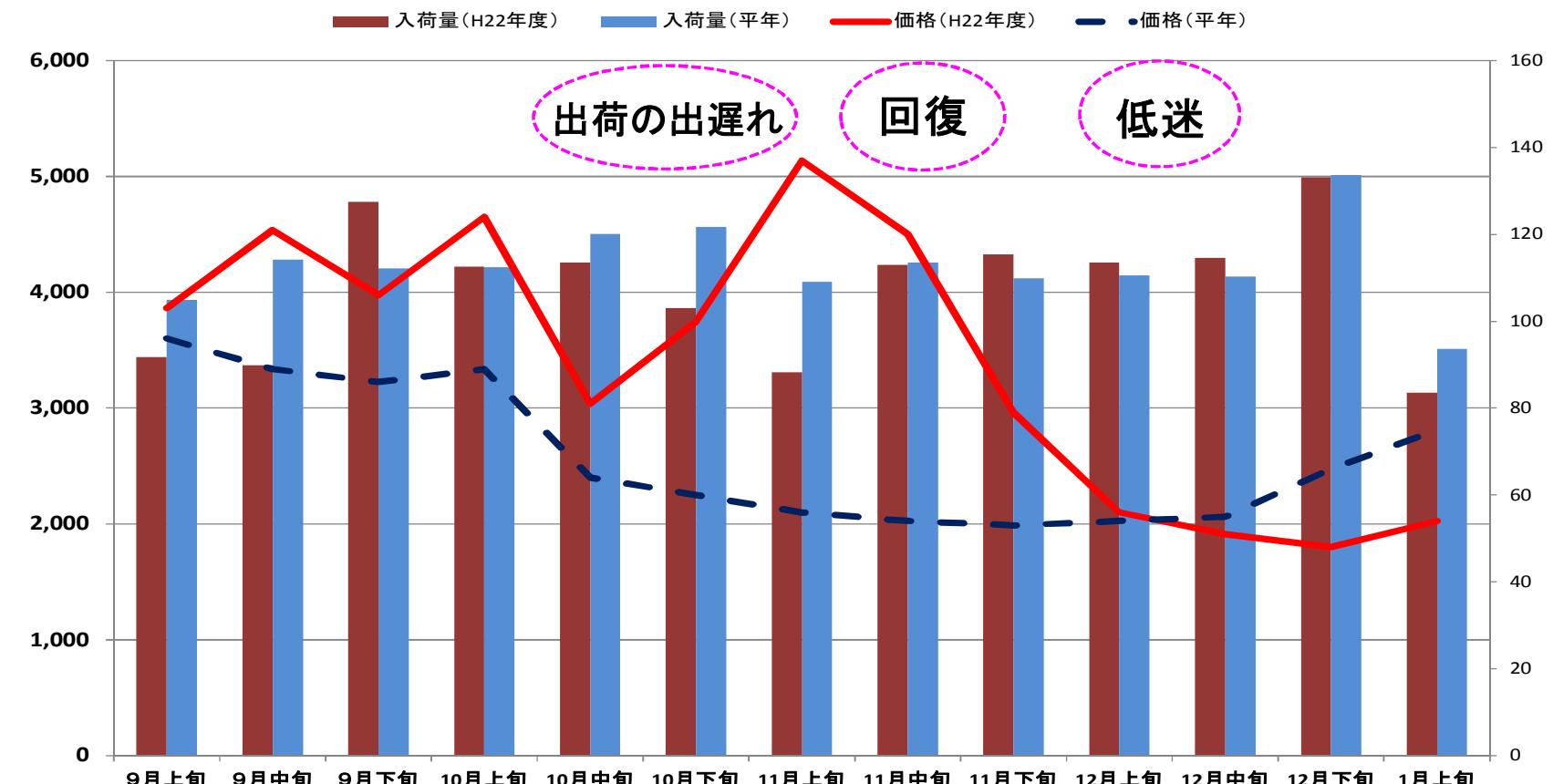
12月中旬よりだいこんの価格が低迷している。

これは、夏場の高温・少雨で播種時期の遅れから出荷の出遅れがみられ、10月下旬～11月上旬は価格が高騰したが、その後は、9月以来の適雨と天候の回復により順調な出荷となつたことに加え、生育ステージが後ずれしたものとの出荷が重なったことから、潤沢な出荷量となっていることによる。

年明けからの寒波の影響により生育に多少鈍化がみられるものの、聴き取りによると大幅な需要の増加も期待できないことから、しばらくは過剰基調で推移するものと見込まれ、価格動向への注視が必要である。

だいこんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）

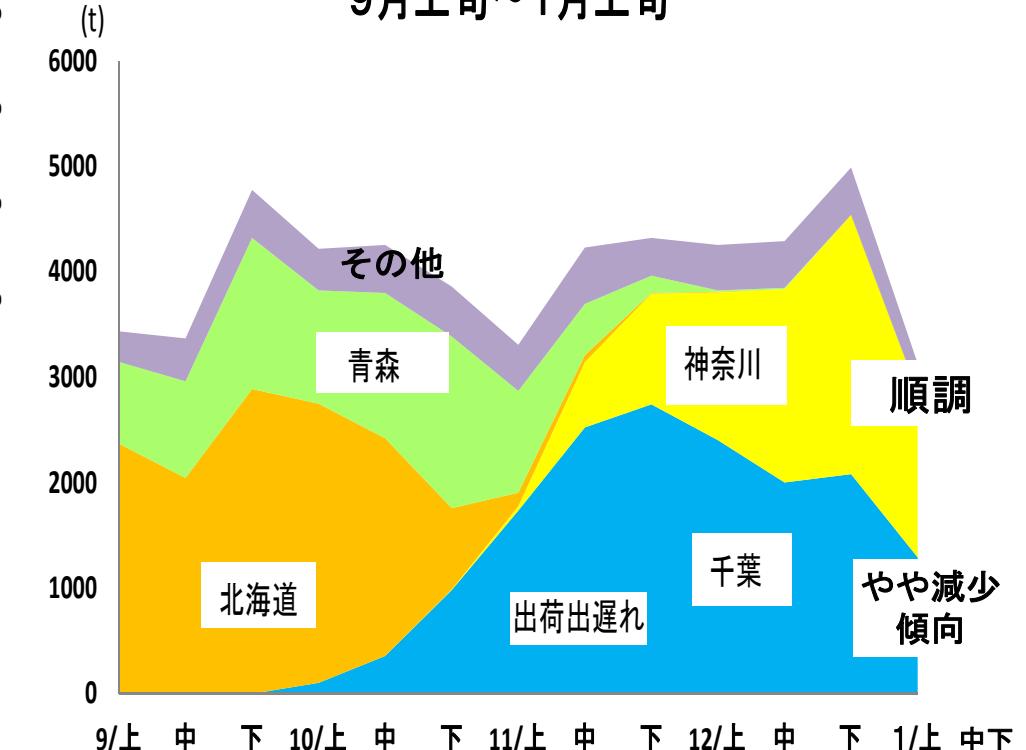
だいこんの入荷量と価格の推移(9/上～1/上)



資料：青果物情報センター

だいこんの産地別入荷量の推移（東京都中央卸売市場）

9月上旬～1月上旬



資料：青果物情報センター

《大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！（直接契約課）》

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、太田、三部 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484